

第3章 くらしの満足度【問7】

1 重要度【問7】

身近な生活に関する38項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「分からぬ」を加えた6区分とした。

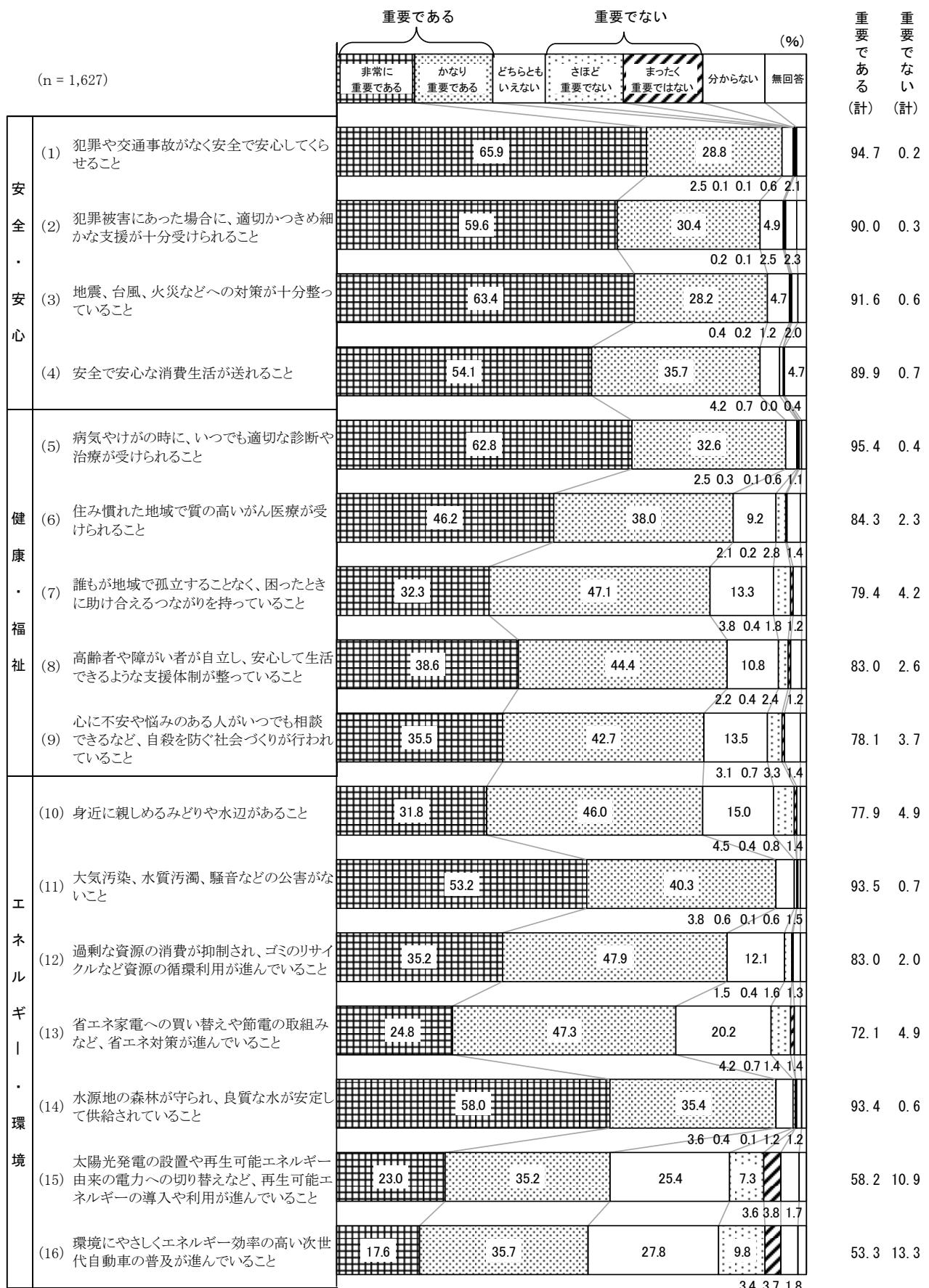
【全体の状況】

項目別の重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

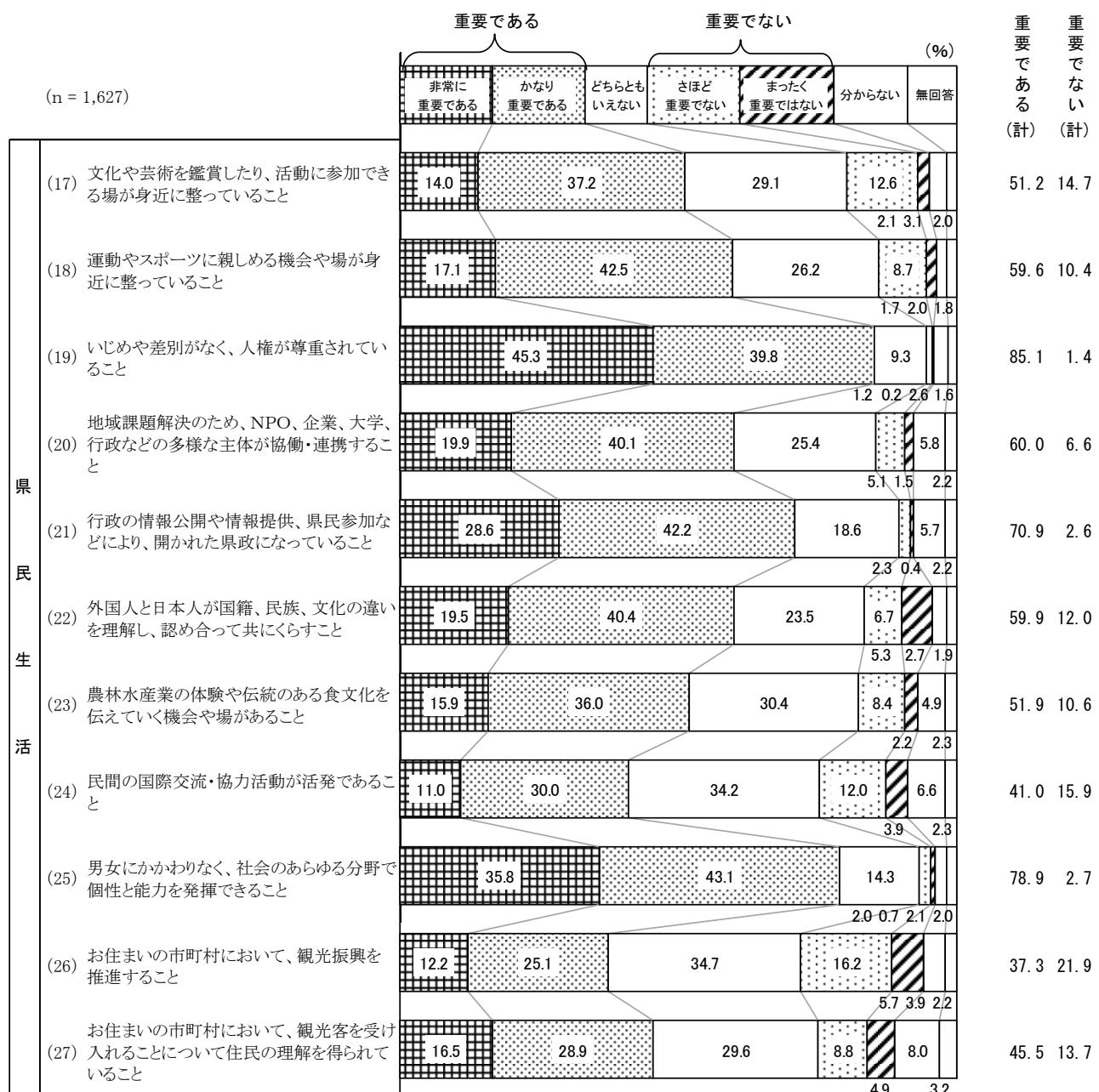
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が95.4%で最も多く、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること」(94.7%)、「(11) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(93.5%) が続いた。(図表3-1-1)

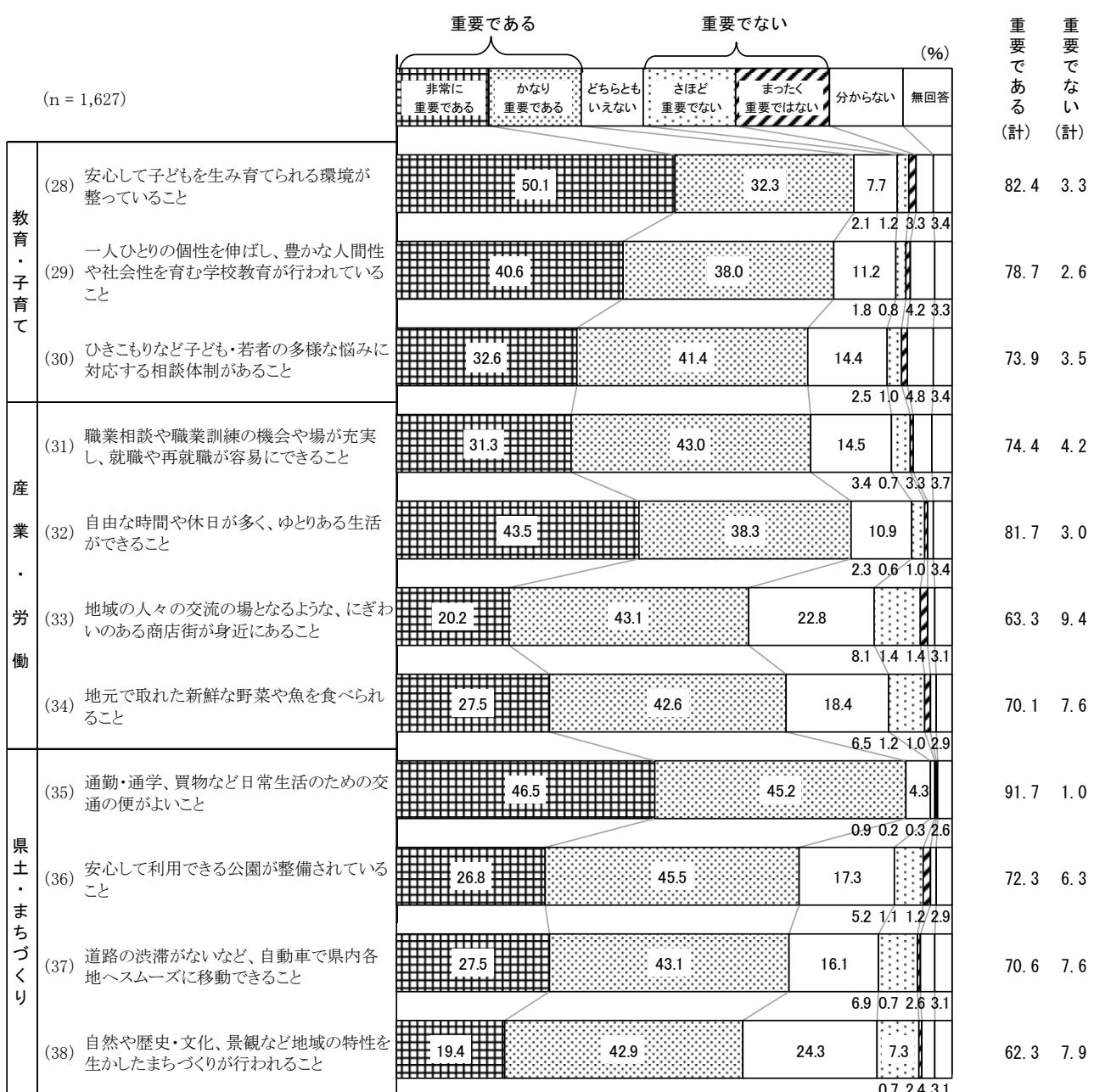
図表3-1-1 重要度



図表3-1-1 重要度 (つづき)



図表3-1-1 重要度（つづき）



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-1-2)

図表3-1-2 重要度《重要である》の上位10項目—過去との比較

	令和3年度(n=1,503)	令和4年度(n=1,404)	令和5年度(n=1,241)	令和6年度(n=1,206)	令和7年度(n=1,627)
1位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.9%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.4%)
2位	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(94.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(92.7%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(94.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(94.7%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.7%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(93.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(93.5%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(93.4%)
5位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.7%)
6位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(88.4%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(91.6%)
7位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられるここと(87.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられるここと(90.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(87.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられるここと(90.0%)
8位	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(85.4%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(84.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられるここと(86.8%)	安全で安心な消費生活が送れること(89.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(89.9%)
9位	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.2%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(83.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(83.1%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.7%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.1%)
10位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(84.3%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(82.4%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(82.4%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(82.3%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(84.3%)

※「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表A(93~102ページ)を参照

図表3-1-3 重要度《重要である》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(11)	(14)	(35)	(3)	(2)	(4)	
地 域	な病 診気 断や やけ 治が 療の が時 受に、 らい れつ るで こも と適 切	し犯 て罪 くや ら交 せ通 る事 故と が時 に、 ら れつ るで こも と適 切	公大 害が 汚染、 い水 と質 が汚 濁、 騒音 なと 水	水源 定地 の森 供給 が守 られ、 いる良 こと 常生 活の	が水 安源 地の 森林 供給 がさ れられ てい る良 こと 常生 活の	た通 勤の ・通 学の 便買 物が よな いど こと 常生 活の	十地 震、 台風、 火災 など への 対策 が	るつ 犯 罪被 害か にあ つた 場 十合 分に、 受け 適切 られか	と安 全で 安心 な消 費生 活が 送れ るこ
上段：順位 下段：(%)									
全 体 (n= 627)	① 95.4	② 94.7	③ 93.5	④ 93.4	⑤ 91.7	⑥ 91.6	⑦ 90.0	⑧ 89.9	
横 浜 (n= 617)	① 95.9	② 95.6	④ 93.4	③ 93.5	④ 93.4				
川 崎 (n= 237)	① 94.5	① 94.5	③ 93.2	④ 92.8	④ 92.8				
相模原 (n= 107)	① 95.3	② 94.4	④ 93.5		④ 93.5	② 94.4			
横須賀三浦 (n= 144)	① 95.1	① 95.1	① 95.1	④ 93.1				⑤ 91.7	
県 央 (n= 150)	① 94.7	④ 92.0	② 93.3	③ 92.7		⑤ 90.0	⑤ 90.0		
湘 南 (n= 235)	① 96.2	③ 95.3	④ 94.5	① 96.2		⑤ 93.6			
県 西 (n= 73)	② 95.9	① 98.6	③ 93.2	③ 93.2		③ 93.2	③ 93.2		

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-1-4 重要度《重要である》の上位項目一性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(11)	(14)	(35)	(3)	(2)	(4)	(19)	(8)	(12)	(32)	(7)	(29)
性・年代 上段：順位 下段：(%)	な病診気 断や け治が の時 受け らる るで こも と適 切	し犯 罪や ら交 通事 故と がな く安 全で 安心	大害 害汚 染、 水質汚 濁、 騒音 など の	が水 安源 定地 しの 森林 供給 が守 られ、 い良 こ質 とな 水	た通 め勤 の・通 交学、 の便 買が 物よ いこ と常 生活 の	十地 震、 整つ 台風、 い火 災など への 対策 が	るつ 犯罪 こきめ 細害 かにあ つた が場 合分 に、 受け 適切 られか	と安 全で 安心 な消 費生 活が 送れ るこ	さい じめ いや る差 別が なく、 人権 が尊 重	整し て高 齢者 や障 がい るよ うが うな 支立 し、 体制 安が 心	用ミ 過進 りな んサ 資源 でイ 資源 の循 環利 ゴ	自 由生 活が でき るこ と多 く、 ゆと り	を困 持つ たと いに 助け 合え ること なが く、 り	がな 一人 間ひ れ性と りの 個性を 伸ば し、 学校 教育 か
全 体 (n=1,627)	① 95.4	② 94.7	③ 93.5	④ 93.4	⑤ 91.7	⑥ 91.6	⑦ 90.0	⑧ 89.9	⑨ 85.1	⑪ 83.0	⑭ 83.0	⑯ 81.7	⑯ 79.4	⑯ 78.7
男 性 (n= 727)	① 95.6	② 95.5	③ 93.7	④ 93.5	⑤ 91.7									
女 性 (n= 809)	① 95.6	② 95.1	④ 93.6	③ 93.8		⑤ 92.8								
男性18～29歳 (n= 31)	① 100.0		① 100.0		③ 96.8	③ 96.8	③ 96.8							
30歳代 (n= 73)		② 93.2	③ 91.8	③ 91.8	① 97.3	③ 91.8	③ 91.8							
40歳代 (n= 122)	① 97.5	① 97.5	⑤ 95.1			③ 96.7		④ 95.9						
50歳代 (n= 179)	③ 95.0	① 97.2	⑤ 91.6		② 95.5	④ 94.4	⑤ 91.6	⑤ 91.6						
60歳代 (n= 146)	③ 94.5	② 95.9	④ 93.8	① 97.3				⑤ 91.1						
70～74歳 (n= 76)	① 100.0	② 97.4	⑤ 92.1	② 97.4		⑤ 92.1					④ 93.4			
75歳以上 (n= 100)	② 95.0	④ 90.0	① 96.0	② 95.0				⑤ 88.0		⑤ 88.0				
女性18～29歳 (n= 48)	① 100.0	① 100.0		④ 97.9	① 100.0	④ 97.9	④ 97.9	④ 97.9				④ 97.9		④ 97.9
30歳代 (n= 105)	① 99.0	① 99.0	④ 97.1			③ 98.1						④ 97.1		
40歳代 (n= 171)	① 97.7	② 97.1	③ 96.5			④ 94.7	⑤ 94.2							
50歳代 (n= 191)	② 96.3	① 96.9	④ 94.2	④ 94.2				③ 95.8						
60歳代 (n= 140)	① 97.9	② 97.1	⑤ 93.6	③ 96.4		④ 95.7	⑤ 93.6							
70～74歳 (n= 45)			③ 88.9	② 93.3	① 95.6	③ 88.9					③ 88.9			
75歳以上 (n= 106)	② 86.8		④ 84.9	③ 85.8	① 89.6							④ 84.9		

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

2 満足度【問7】

「重要度」で尋ねた項目と同じ38項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「分からぬ」を加えた6区分とした。

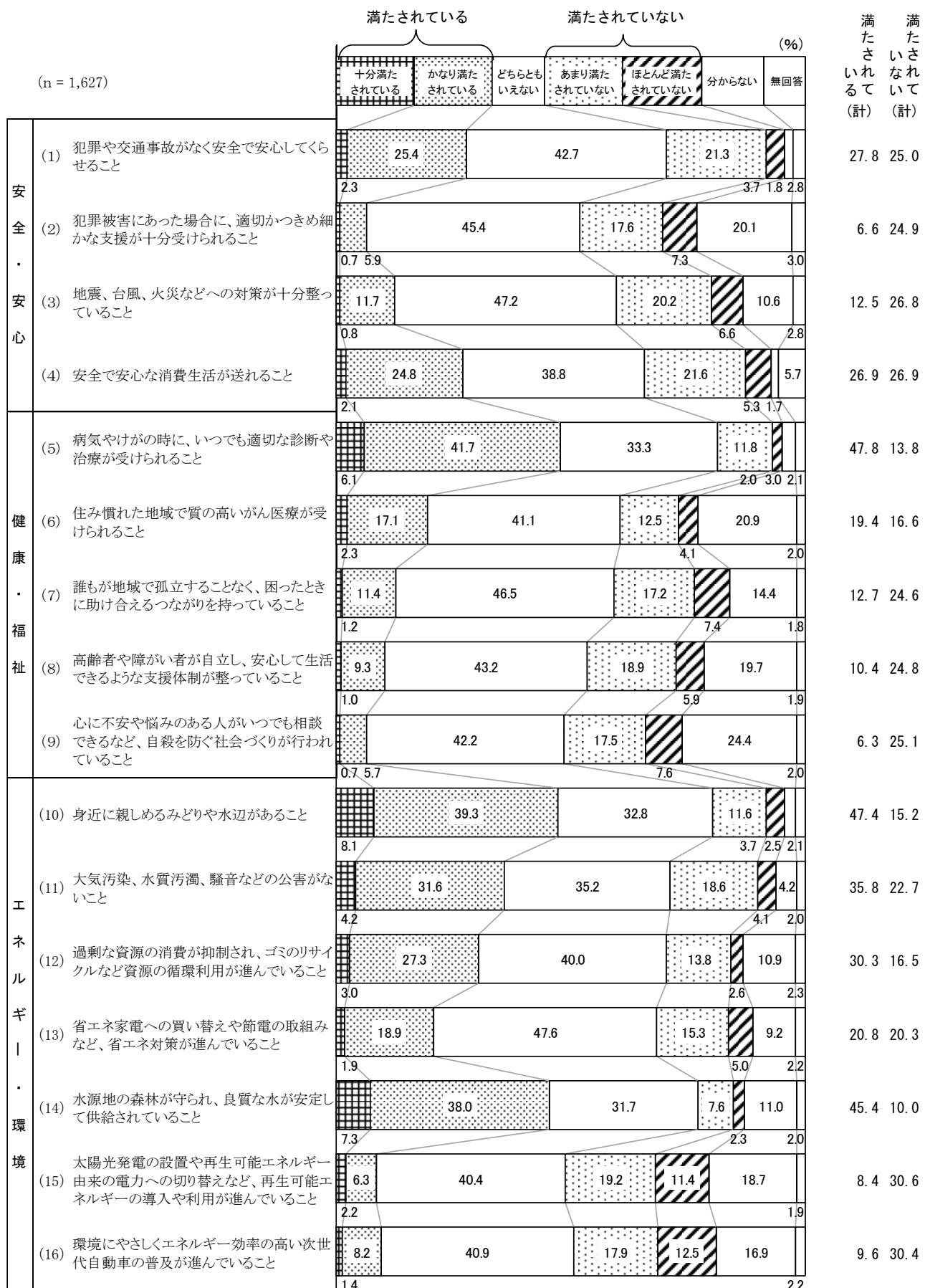
【全体の状況】

項目別の満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

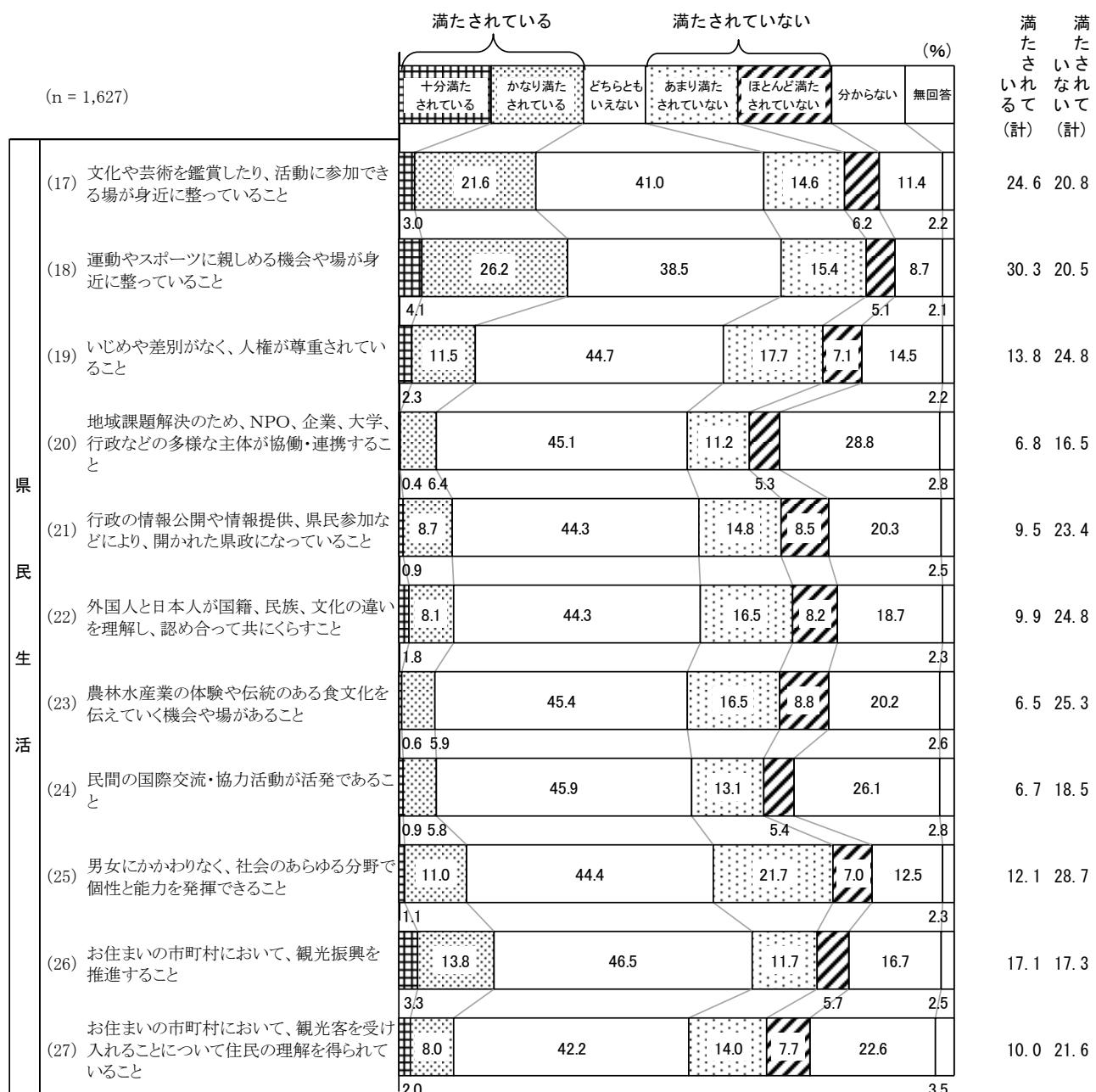
「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(35) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が50.6%で最も多く、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」(47.8%)、「(10) 身近に親しめるみどりや水辺があること」(47.4%)が続いた。

「ほとんど満たされていない」と「あまり満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(33) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が40.8%で最も多く、「(37) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(33.7%)、「(32) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」(31.8%)が続いた。(図表3-2-1)

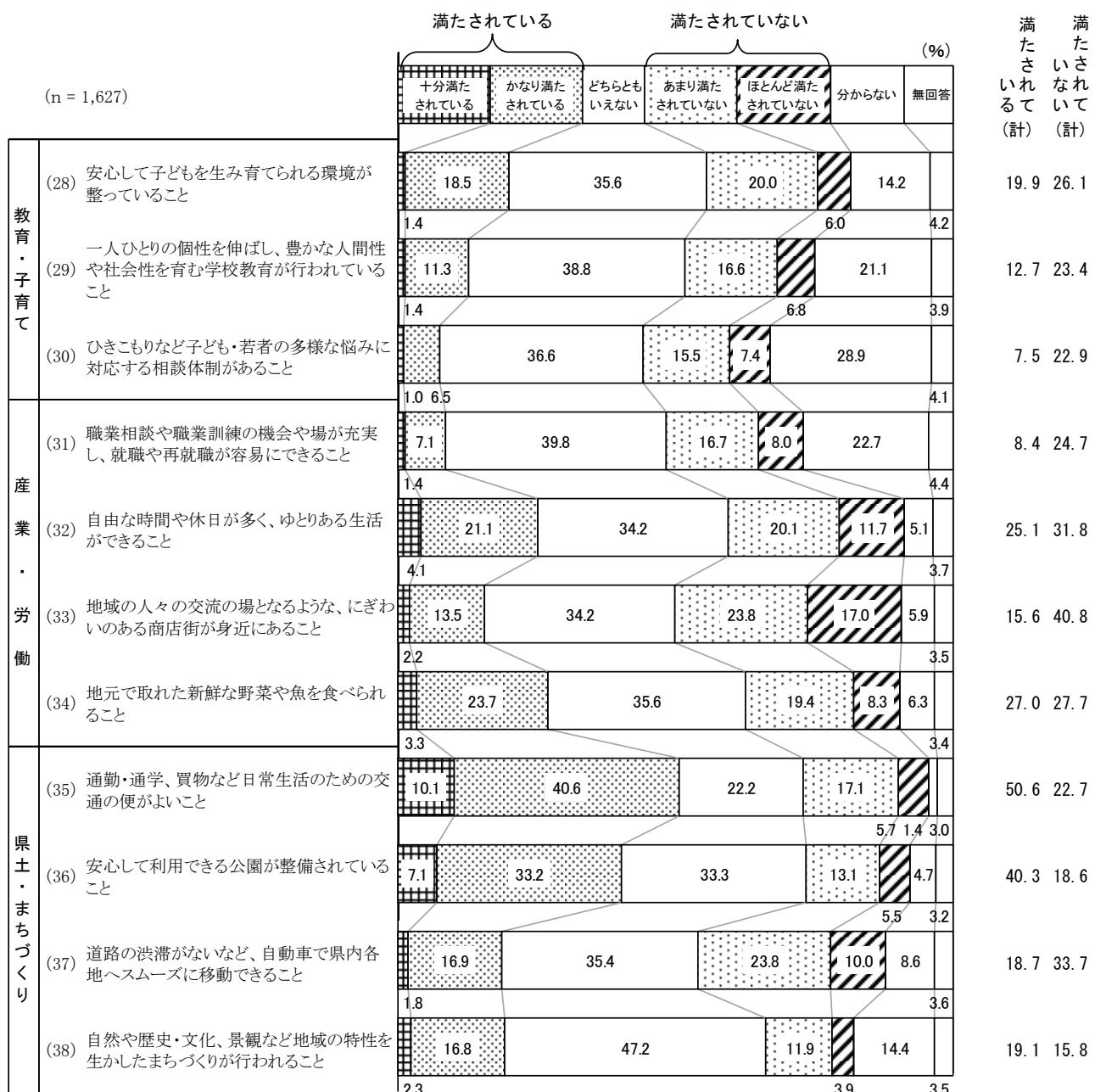
図表3-2-1 満足度



図表3-2-1 満足度（つづき）



図表3-2-1 満足度（つづき）



【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 満足度《満たされている》の上位10項目ー過去との比較

令和3年度(n = 1,503)		令和4年度(n = 1,404)		令和5年度(n = 1,241)		令和6年度(n = 1,206)		令和7年度(n = 1,627)	
1位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(52.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.4%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(51.1%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(48.2%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(48.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(48.3%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.8%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.8%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.4%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.4%)
3位	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.4%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(47.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(46.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(46.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(45.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(45.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(45.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(45.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(45.4%)
4位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(43.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.0%)	安心して利用できる公園が整備されていること(37.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること(37.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること(40.3%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること(32.1%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること
5位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(43.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(43.7%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(37.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(35.8%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること
6位	安心して利用できる公園が整備されていること(36.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること(38.2%)	安全で安心な消費生活が送れること(28.6%)	安全で安心な消費生活が送れること(28.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(30.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(30.3%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること(27.6%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること
7位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(30.3%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(33.4%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.1%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.0%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(26.6%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.1%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること(25.8%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること
8位	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(29.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(29.0%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.1%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.1%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(26.6%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.1%)	安全で安心な消費生活が送れること(25.8%)	安全で安心な消費生活が送れること(28.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(27.0%)
9位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.1%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.1%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(26.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(27.9%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(26.6%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(27.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(25.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(28.4%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられるること(27.0%)
10位	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること(26.8%)								

※「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」、「過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B (103~112 ページ) を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 満足度《満たされていない》の上位10項目ー過去との比較

令和3年度(n = 1,503)		令和4年度(n = 1,404)	令和5年度(n = 1,241)	令和6年度(n = 1,206)	令和7年度(n = 1,627)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.2%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(44.4%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(39.2%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.8%)
2位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(38.2%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.7%)
3位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.2%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.3%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(34.9%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(34.1%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(31.8%)
4位	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(33.8%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(33.5%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(34.6%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(31.6%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(30.6%)
5位	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(32.4%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(33.3%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.5%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(30.4%)
6位	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(32.3%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.6%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(30.3%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.7%)
7位	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(31.9%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.8%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(29.0%)	男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.9%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.7%)
8位	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(30.0%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(31.9%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(28.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(26.9%)
9位	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.5%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていていること(28.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.8%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(26.8%)
10位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(29.3%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(28.3%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(26.1%)

※「高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は令和5年度より削除

※「太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B (103~112 ページ) を参照

図表3-2-4 満足度《満たされている》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目 地域	(35)	(5)	(10)	(14)	(36)	(11)	(12)	(34)
上段：順位 下段：(%)	い生通 こ活勤 との・ た通 め学 の交 買 通物 のな 便ど が日 よ常	らも病 れ適氣 る切や こなけ と診が 断の や時 治に、 療がい 受つ けで	辺身 が近 あるに ある親 こなけ と診が 断の や時 治に、 療がい 受つ けで	て質水 いな源 る水地 こがの と安森 林が して守 供られ られ良	整安 備心 して 利用 でき ること と公 園が	な大 ど大 気汚 染、 公害 が水 質汚 濁、 と騒 音	る資 れ過 こ源 とゴ 循ミ 資源 環の 利リ の用 サ消 がイ 費が 進ク がん ル抑 でな 制い どさ	魚地 を元 で取 られ た新 鮮な 野 菜や
全 体 (n=1,627)	① 50.6	② 47.8	③ 47.4	④ 45.4	⑤ 40.3	⑥ 35.8	⑦ 30.3	⑩ 27.0
横 浜 (n= 617)	① 57.5	② 49.1	③ 45.7	⑤ 45.2	④ 45.4			
川 崎 (n= 237)	① 63.7	② 50.6	⑤ 36.3	④ 37.1	③ 38.8			
相模原 (n= 107)	⑤ 43.0	② 47.7	④ 43.9	① 50.5	② 47.7			
横須賀三浦 (n= 144)		② 47.9	① 56.3	④ 38.2		⑤ 35.4		③ 45.1
県 央 (n= 150)	② 46.7	⑤ 36.7	① 50.0	③ 44.0	④ 43.3			
湘 南 (n= 235)	④ 42.6	③ 50.2	① 55.3	② 53.6	⑤ 40.9			⑤ 40.9
県 西 (n= 73)		④ 43.8	② 57.5	① 61.6		③ 46.6	⑤ 41.1	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-5 満足度《満たされていない》の上位項目—地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(33)	(37)	(32)	(15)	(16)	(25)	(34)	(4)	(3)	(28)	(31)	(21)	(35)
地 域	とにかく地域の人のいのいる交流店街がと身なるによあるな、こ	各地路への渋滞がないなど、自動車と車で県内	生活がなで時間がとれることが多い、ゆとりある	ギー電力の導入や利用が進んだで、再生可能エネルギー由来	次世代に自動車の普及が進んで、再生可能エネルギー効率の高い	分男女で個性と能力を發揮できること	れ地元で個性と能力を發揮できること	安全で安心な消費生活が送れること	整つていて、地元で個性と能力を發揮できること	が安心して、地元で個性と能力を發揮できること	し、職業相談や職業訓練の機会が豊富な環境	行政の情報公開や情報提供、県政への参画	の通勤交通・通学、買物など日常生活のため
上段：順位 下段：(%)													
全 体 (n=1,627)	① 40.8	② 33.7	③ 31.8	④ 30.6	⑤ 30.4	⑥ 28.7	⑦ 27.7	⑧ 26.9	⑨ 26.8	⑩ 26.1	⑯ 24.7	㉐ 23.4	㉓ 22.7
横 浜 (n= 617)	① 38.1	③ 30.3	② 32.7			④ 30.0	⑤ 29.8						
川 崎 (n= 237)	① 40.9	④ 31.2	③ 31.6	⑤ 29.5			② 34.6						
相模原 (n= 107)	① 50.5	⑤ 37.4	③ 40.2				② 41.1			④ 38.3			
横須賀三浦 (n= 144)	② 41.0	① 43.8	④ 31.9	④ 31.9	④ 31.9	④ 31.9						③ 35.4	
県 央 (n= 150)	① 42.7	② 38.7		④ 32.7	③ 36.0			④ 32.7					
湘 南 (n= 235)	① 41.7	② 38.7		④ 36.2	③ 37.9				⑤ 29.8				
県 西 (n= 73)	① 47.9		② 39.7	④ 32.9		④ 32.9				③ 37.0	④ 32.9	④ 32.9	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-6 満足度《満たされている》の上位項目一性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(35)	(5)	(10)	(14)	(36)	(11)	(12)	(18)	(1)			
性・年代 上段：順位 下段：(%)	の通勤め・の通交学、通の買便物がなよどい日こ常と生活	と切病な気診や断けやが治の療時がに、受けいらつれでるもこ適	と身近にと親しめるみどりや水辺が	ある近こにとしめるみどりや水辺が	と水源安地定のし森林供が給守され、てい良る質こな	と水水源安地定のし森林供が給守され、てい良る質こな	され心てして利用とでき公園が整備	さ安心して利用とでき公園が整備	の大公気害汚染、な水こ質汚濁、騒音など	環ゴ過利ミ資源のながり資源進サ源んイのでクル消費るながこと抑と資制源され循	や運動場が身近に整つて親いいる機会	心犯してやく交通事故がことなく安全で安
全 体 (n=1,627)	① 50.6	② 47.8	③ 47.4	④ 45.4	⑤ 40.3	⑥ 35.8	⑦ 30.3	⑦ 30.3	⑨ 27.8			
男 性 (n= 727)	① 51.6	② 48.3	③ 46.6	④ 44.7	⑤ 41.0							
女 性 (n= 809)	① 50.6	③ 48.2	② 48.3	④ 47.1	⑤ 40.5							
男性18～29歳 (n= 31)	② 58.1	① 61.3	③ 54.8			③ 54.8			③ 54.8			
30歳代 (n= 73)	② 53.4	① 56.2	④ 47.9	③ 49.3				⑤ 45.2				
40歳代 (n= 122)	③ 43.4	① 45.9	① 45.9	⑤ 41.0	③ 43.4							
50歳代 (n= 179)	① 52.5	③ 40.2	② 48.6	④ 38.0	⑤ 36.9	⑤ 36.9						
60歳代 (n= 146)	① 55.5	② 46.6	③ 43.8	③ 43.8	⑤ 37.7							
70～74歳 (n= 76)	① 52.6	① 52.6	④ 48.7	③ 51.3	⑤ 42.1							
75歳以上 (n= 100)	③ 50.0	① 55.0	⑤ 43.0	② 54.0	④ 47.0							
女性18～29歳 (n= 48)	① 62.5	① 62.5	③ 47.9	③ 47.9				③ 47.9				
30歳代 (n= 105)	③ 51.4	① 55.2	② 54.3		④ 45.7	⑤ 41.9						
40歳代 (n= 171)	① 56.1	③ 47.4	② 52.0	⑤ 44.4	④ 46.2							
50歳代 (n= 191)	① 48.2	① 48.2	④ 46.1	③ 47.6	⑤ 39.3							
60歳代 (n= 140)	③ 42.9	③ 42.9	① 47.9	② 47.1		⑤ 40.0						
70～74歳 (n= 45)	③ 42.2	④ 35.6	② 46.7	① 53.3				⑤ 33.3				
75歳以上 (n= 106)	② 52.8	③ 49.1	④ 43.4	① 54.7		⑤ 41.5	⑤ 41.5					

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-7 満足度《満たされていない》の上位項目一性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>）